

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	志村さかした保育園
日時	令和7年1月6・17・20・27日

1. 活動テーマ

<テーマ>

5歳児…体操教室 おすもう

<テーマの設定理由>

- ・お相撲に興味を持つ。
- ・思い切り力を出すことの心地よさを感じる。
- ・負けても泣かずに頑張ろうという気持ちを持つ。

2. 活動スケジュール

- ・準備運動をする。
- ・おすもうで講師と対戦する。
- ・子ども同士で勝ち抜き戦をする。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・マットを組み合わせて土俵を作る。

4. 探究活動の実践

<活動内容>

- ・音楽をかけてホールを走り、体を温める。
- ・ペアになって柔軟体操をする。
- ・「おすもう」をする。
- ・講師と対戦する。思い切り押し講師を押し出す。負けたら交代。
- ・2巡くらいしたら子ども同士で対戦する。
- ・勝ち残り負けたら次の子と交代。
- ・数多く勝ち抜いた子が「チャンピオン」としてみんなの前で紹介してもらえます。
- ・講師がオニになりどろけいをする。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育士との関わり>

- ・柔軟体操で「見てみて」と床にべったり体を付けて柔らかさを披露してくれる子もいます。
- ・準備体操は、ペアになってじゃんけんで負けた子が勝った子を持ち上げて「飛行機」。
- ・講師とペアになった子は、「だんご先生、重くて持てないよー。」と楽しそうな様子です。



- ・最初はだんご先生と対戦です。思い切り力を入れて押し出します。だんご先生は「もっと腰を落として力を入れて！」とアドバイスを。
- ・次に、子ども同士で対戦。勝った子は「親方」として土俵上に残り続けて対戦していきます。

5. 振り返り

<振り返りによって得た保育士の気づき>

- ・最初はただ押すだけだったが何度か大人と対戦するうちに、徐々に腰を落として足を踏ん張り押し手に力が入るようになってきた。
- ・勝ち続けると周りから「すごい」「つよい」と評価されて、それが自信になり表情にも表れてくる。特に女の子の多くが真剣に力強く取り組んでいた。
- ・負けて悔しい時でも泣いたり落ち込んだりする事無く、次は勝つという気持ちで列に並んでいた。女の子に多く見られた。
- ・並んでいる時は友達の対戦「いけー」「おせー」などと応援しながら気持ちが熱く盛り上がっている様子が見られた。時間になり終わりを伝えられると「えーもっとやりたい」とみんな残念がっていた。